

# 平成 26 年度事業報告

## I 事業総括

サンスターグループの「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」という社是の実現に向けて、当財団は今日まで様々な取組みや社会貢献を行ってまいりました。平成 26 年度は、社員の健康管理部署である「健康推進室（常勤産業医 1 名、常勤保健師 2 名、看護師 1 名、非常勤薬剤師 1 名）」を中心に、口腔と全身の健康に関する様々な取組みを始めた 1 年でした。また、平成 27 年 7 月 1 日の附属千里歯科診療所の移転拡張に向けて、お口の健康から全身の健康を考える歯科診療所を目指した診療体制（スタッフ増員、医療設備の充実など）の検討も進めてまいりました。

事業方針（1）財団活動の国際化については、平成 26 年 12 月 12 日に北京にて「糖尿病と口腔健康推進セミナー（JSDEI）in 北京」を開催しました。事業方針（2）歯科領域に軸足を置きつつ、医科領域への活動拡大については、病院等の看護師、管理栄養士、介護施設関係者を対象とした歯科保健セミナー等の口腔衛生教育活動を進めてまいりました。事業方針（3）社員の健康管理と健康経営の実践については、医療・健診統合情報分析システムを活用した社員の健康度分析に基づく特定保健指導の充実を図りました。

財務面では、社員の健康増進管理に関する業務委託料および北京における学術講演事業（JSDEI）協賛等の寄付金の増加などにより、経常収益 584.1 百万円（前年 521.8 百万円）、経常費用 551.6 百万円（前年 511.6 百万円）、当期経常増減額（税引前営業利益）は 32.5 百万円（前年 10.2 百万円）となりました。

## II 事業報告

### 1. 学術講演事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演）

日本国内においてこれまで延べ 6 回開催してまいりました「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー（JSDEI）」の第 7 回開催の検討を進めた結果、翌会計年度の平成 27 年 7 月 26 日（日）の開催を決定しました。一方で、中国・アジア市場にける事業活動として、平成 26 年 12 月 12 日（金）北京にて「糖尿病と口腔健康推進セミナー（JSDEI）in 北京」を開催しました。中国での糖尿病患者は約 1.14 億人、予備軍を含めると約 6 億人と言われており、世界で最も罹患者と予備軍が多い国です。このような背景から、学術的にも大変注目され、参加者は中国全域から糖尿病専門医や内分泌科専門医、歯周病専門医、歯科医師、看護師、栄養士、およびこれらの分野に関わる研究者、専門メディア合わせて約 510 名が参加しました。

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、サンスター株式会社、サンスター・シンガポールの協賛寄付金 22.4 百万円を北京における同セミナー開催費用に充当。当期経常増減額（税引前営業利益）は▲3.1 百万円となりました。

### 2. 助成事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動）

(1)金田博夫研究助成基金 平成 26 年度海外留学受給者は、歯科医師 2 名となりました。

平成 21 年度から開始しました同研究助成では、すでに 4 名の医師、2 名の歯科医師のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しております。6 年目となる本年度は、下記の歯科医師 2 名の留学の助成を決定しました。

◆平成 26 年度受給者(2 名)

歯科医師 佐藤 真理 (34 歳)  
所 属 北海道大学大学院歯学研究科  
研究課題\* 脂肪細胞ニッチの探索と神経系による脂肪細胞ニッチ制御機構の解明

歯科医師 四釜 洋介 (34 歳)  
所 属 徳島大学病院糖尿病対策センター  
研究課題\* 飽和脂肪酸の歯科領域疾患に対する影響：病態形成に関与する可能性

\*研究課題は応募時のテーマです。

\*金田博夫研究助成基金(海外留学助成)

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に 2 年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成 21 年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長 2 年間とし、渡航費及び滞在費(2 年間合計/11 万ドル+100 万円)を支給する。  
なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

(<http://www.sunstar-foundation.org/josei.html>)

(2)平成 23 年度受給者による留学報告会を開催しました。

片桐さやか先生(東京医科歯科大学大学院)のジョスリン糖尿病センターにおける研究活動に関する報告会を開催しました。

- ・社内講演会 平成 26 年 11 月 28 日(金)
- ・財団理事会 平成 26 年 11 月 29 日(土)

社内講演会後は、過去の受給者の先生方もお招きし、サンスター株式会社の研究員との交流会を実施し、交流を深めました。

(3)同基金のサポートによる対外発表

水谷幸嗣先生、片桐さやか先生(ともに東京医科歯科大学大学院)の研究成果が Journal of Dental Research に掲載されました。また、佐竹栄一郎先生(浜松医科大学医学部小児科)の研究成果が本年 11 月に開催された米国腎臓学会にて発表されました。

・ **Obesity-associated Gingival Vascular Inflammation and Insulin Resistance**

K. Mizutani, K. Park, A. Mima, S. Katagiri and G.L. King

*J.DENT RES* 2014 93: 596

- ・ **miRNome expression profiling in plasma from type 1 diabetic patients with impaired renal function and an increased risk of rapid progression to end-stage renal disease.**

#### (4) (公社) 日本歯科衛生士会主催学術賞 (サンスター財団賞) に協賛しました。

本年度は、優秀賞 1 名、奨励賞 2 名が授賞しました。

- ・優秀賞 鈴木 幸江 : ブラッシング刺激による高齢者の神経認知機能への影響について
- ・奨励賞 柴田 由美 : 歯科衛生士介入による病棟看護師の口腔ケアに対する認識変化
- 北川 有佳里 : 地域がん診療連携拠点病院における緩和ケア対象患者への歯科衛生士の介入実態と今後の課題

#### \* 日本歯科衛生士会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成 18 年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞 (サンスター財団賞) と学術発表賞 (ライオン歯科衛生研究所賞) があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金収入 17.6 百万円、留学助成金、選考委員会運営費用などの経常費用 18,4 百万円、当期経常増減額 (税引前営業利益) は▲0.8 百万円となりました。

### 3. 調査研究事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究)

日本歯周病学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に附属千里歯科診療所歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、学会や講演会などで講演、発表を行いました。その中で、サンスター株式会社との共同研究から得られたインプラントに関する臨床知見の発表機会を、数多く持つことができました (活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)~(5)」を参照)。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、人件費等の経常費用 7.4 百万円、当期経常増減額 (税引前営業利益) は▲7.4 百万円となりました。

### 4. 臨床教育事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育)

大阪、兵庫地区の歯科衛生士学校の実習生 12 名 (神戸常盤短期大学 4 名、大阪歯科学院専門学校 4 名、太成学院大学 4 名) に対し、のべ 95 日間の臨地教育を行いました。臨地教育内容としては、歯科医療の知識・技術を幅広く実習することを目的として、治療アシスタント業務や歯科保健指導の見学、消毒滅菌システムの実習などを行いました。大阪歯科学院専門学校と太成学院大学歯科衛生専門学校の 2 校については、両校独自の実習カリキュラムに沿って、歯科医師の治療アシスタント業務と歯科保健指導の見学・実習を中心に、その他、挨拶・患者様誘導・消毒滅菌システムなどの実習を行いました。神戸常盤短期大学については、歯科保健指導などの予防業務に重点をおいた実習を行いました。

以上の活動の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 0.1 百万円、経常費用 8.7 百万円、当期経常増減額 (税引前営業利益) は▲8.5 百万円となりました。

## 5. 歯科健診・保健指導事業

(別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑤歯科健診保健指導)  
予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は576件・84,694人でした(活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)~(3)」を参照)。

### (1)産業歯科健診保健活動

事業収益の柱である産業歯科健診保健活動においては、顧客である健康保険組合の財政が厳しい状況が続いています。また、厚労省が全健康保険組合に求める「データヘルス計画の作成と実施<sup>※</sup>」の平成27年度からの実施に向けて、健保の保健事業が見直される状況にあります。このような状況の中、6つの健保が財政的な理由により歯科健診を中止する一方で、3つの健保から新たに歯科健診を受託しました。その結果、本年度の歯科健診事業は30の健保、合計36,072人(前年比▲4,834人)を対象に実施しました。歯科健診を「口腔疾患発生予防の保健指導のためのスクリーニングの場」とし「保健行動の変容と口腔内状態の改善」を目標とした保健指導を行いました。これにより、昨年に続き本年度も実施した27健保のうち23健保で歯間清掃具の使用率が向上し、18健保で歯科医院での歯石除去を受療する率も向上しました。この結果、19健保で口腔内の清掃状態が改善しました。

一方、費用対効果の高い歯科保健事業の試みとして、質問紙表に対する回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、具体的な保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない新たな歯科健診」を1団体10,095人に対し実施しました(次年度に費用対効果の検証を行う予定)。この新たな試みにより、従来の産業歯科健診収入が減収の中、歯科健診と歯科保健指導合計で前年比+4.7百万円の155.1百万円の事業収入となりました。

#### ※「データヘルス計画の作成と実施」

高齢化や生活習慣病の増加に伴う医療費の高騰を抑制するために、特定健康診査(メタボ健診)や診療報酬明細書(レセプト)などから得られるデータの分析に基づいて、保健事業をより費用対効果の高いものにしていくことを目的としている。

### (2)8020運動啓発などの歯科保健活動

「健康日本21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携した歯科保健啓発活動をサンスター株式会社からの業務委託により全国145件・19,324人を対象に実施しました。

大手量販店、ドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れを対象に、オーラルヘルスケアの重要性、歯周病と全身疾患との関わり等を中心に、正しいお口のケアの方法とあわせ歯科保健指導を実施。大阪府、鹿児島県及び静岡県市町村の共済組合職員に対するセミナーや東京都葛飾区・大阪府和泉市にて地域住民親子に対するセミナーも実施しました。新たな取り組みとしては、サンスター株式会社の主催する“出張健康道場<sup>※</sup>”参加者に対するセミナーを実施しました。

#### ※「出張健康道場」(別添リーフレット参照)

『健康関連事業に携わる社員が、まず“健康であるべき”』という理念に基づき、社員のために開設された福利厚生施設である「サンスター心身健康道場(所在地:大阪府高槻市)」における健康法(食事・身体・心のバランス)をもとに、参加者が日々の食事や生活習慣のクセに気づき、無理なく楽しい健康づくりの第一歩の手助けになるような体験形プログラム。

### (3)保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科保健教育等を年齢に合わせた指導メニューにより、全国170件・18,353人を対象に実施しました。

サンスター株式会社の地域住民への貢献活動のひとつとして、高槻市教育委員会との連携による高槻市内小学校3年生、中学生3年生を対象としたブラッシング指導を同社からの業務委託により実施しました。また、大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内北部の小学校を中心にフッ素塗布を実施。近畿エリアの幼稚園・保育園に対しては紙芝居等の教材によるハミガキ教室を実施しました。同様に東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校3年生、5年生、中学校1年生を対象としたブラッシング指導とフッ化物洗口指導を実施しました。

#### **(4)妊婦婦および乳幼児と自閉症児に対する歯科保健活動**

妊産婦、乳幼児の歯科保健の向上を目的に産婦人科医と歯科医師が協同で製作した啓発冊子を本年も継続して斡旋しました。斡旋開始（2006年）からのべ13,325冊を提供しています。

障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し製作した自閉症のお子様への歯みがき指導教材の斡旋も継続して実施しました。指導教材の斡旋開始（2007年）から絵カード598組、動画612本を提供してきました。

#### **(5)その他**

昨年度に続き、超高齢者社会を向かえ介護における口腔ケアの重要性や医療費削減を目的としたセルフケアの推進などが求められる状況にあり、病院等の看護師、セルフケアドラッグストアの薬剤師・管理栄養士、介護施設関係者などを対象とした歯科保健セミナー等の口腔衛生教育活動を進めてまいりました。

以上の活動の結果、歯科健診保健指導事業における事業収支は、事業収益が前年比3.6百万円増の207.3百万円、経常費用172.3百万円、当期経常増減額（税引前利益）は前年比9.5百万円増の34.9百万円となりました。

### **6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）**

#### **(1)歯科診療**

本年度、附属千里歯科診療所においては、前年比▲484人減の、延べ24,426人（内、障がい児{者}512人）の患者に対し診療ならびにメンテナンスを行いました（内、新患者数は前年▲25人減の781人）。また、大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ156人の1型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。さらに、平成27年1月からは新たな難病医療費助成制度における指定医療機関として難病患者の受け入れも開始しております（累計3人）。患者数微減の中、保険診療収入は微増ながら、消費税増税の影響もあり自由診療収入が前年比▲10.0百万円の大幅減少の結果、歯科診療収入合計は前年比▲10百万円減の194.4百万円となりました。

#### **(2)研究委託**

サンスター株式会社が研究および開発中の製品に対する臨床評価等の委託テーマ増加により研究委託収入は前年比+3.0百万円増の7.0百万円となりました。

#### **(3)商品販売**

患者様向け商品販売では、受付・歯科衛生士が連動し、推奨キャンペーンやギフトセットをオリジナ

ルで展開し、前年比+0.5百万円増の5.3百万円の増収となりました。特に、本年2月からはインプラントシリーズや舌ブラシなど5品種の発売を開始、特に舌ブラシについては高齢者、口臭などでお悩みの患者様向けに、衛生士・受付から使い方の説明も含めて推奨し、2月度122本、3月度95本の販売実績を上げています。

また、本年度は、歯科診療事業と併行して、平成27年7月の移転に向けた検討、準備をスタッフ一同で進めてまいりました。

以上の結果から、歯科診療事業の事業収支は、消費税増税による自由診療収入の減少もあり、前年比▲7.0百万円減の207.6百万円の事業収益に対し、経常費用179.9百万円、当期経常増減額（税引前利益）は前年比1百万円増の27.7百万円となりました。

## 7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、事業収支は前年比▲1.4百万円減の10.0百万円の事業収益となりました。仕入原価等の経常費用6.6百万円、当期一般正味財産増減額（税引前利益）は前年比0.7百万円増の3.4百万円となりました。

## 8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

本年度は、前年に確立しました医療・健診統合情報分析システム（EMITAS）を活用した社員の健康維持増進策の作成・実施と評価（PDCAサイクル）を進めてまいりました。

### (1)要保健指導者に対する保健指導の強化

- ・定期健康診断結果に基づいて抽出した保健指導対象者に対する継続的な保健指導を実施しました。
- ・健康管理指導支援システムの開発導入により、過去7年間の血液指標データのトレンドを見える化し、保健指導の充実を図るとともに、面談結果のデジタル化と保健指導を評価検証できる体制を作りました。

### (2)特定健診・特定保健指導の一環として栄養セミナーを実施

- ・特定健康診査の動機付け支援対象者とBMI25未満でありながら軽度の生活習慣病の発症者を対象に、管理栄養士による「正しい食事の摂り方について」の栄養セミナーを実施しました。

### (3)土室心身健康道場を活用した特定保健指導の実施

- ・特定健康診査の積極的支援対象者52名を対象に、2泊3日のQOL研修を延べ13回実施しました。また、生活習慣病を発症する前の30歳代の社員に対する情報提供プログラムの開発に取り組みました。

### (4)平成27年度データヘルス計画の作成

- ・サンスター健康保険組合から平成27年度データヘルス計画の作成を委託され、保健事業委員会メンバーを中心に計画作成に取り組み、各種がん検診の充実を図ることとしました。

### (5)健診情報と診療報酬明細書（レセプト）情報の利活用

- ・個人情報保護法、疫学研究に関する倫理指針などの遵守と本人同意を大前提に、サンスターグループ社員約1,600名の健診情報、歯科健診情報及び診療報酬明細書情報の統合分析による健康増進策の開発や臨床評価を推進しています。

以上の活動結果、健康推進事業の事業収支は、サンスターグループ各社及びサンスター健康保険組合からの業務委託収入 99.7 百万円、歯科衛生士の配置や健康管理指導支援システムの開発導入などにより経常費用が 77.8 百万円、当期一般正味財産増減額（税引前営業利益）は前年比 10.7 百万円増の 21,9 百万円となりました。（前年実績は財団へ業務委託後の 6 ヶ月の実績）

## 9. 法人会計（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計）

### (1)理事会・評議員会等の開催

#### ・平成 26 年度第 1 回理事会

開催日：平成 26 年 5 月 31 日（土）

開催場所：ホテルグランヴィア京都

決議事項：平成 25 年度事業報告についての承認、

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、

出席：理事 11 名（総数 11 名）、監事 2 名（総数 2 名）、顧問 3 名（総数 3 名）他

#### ・平成 26 年度定時評議員会

開催日：平成 26 年 6 月 14 日（土）

開催場所：リーガロイヤルホテル大阪

決議事項：平成 25 年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、

出席：評議員 5 名（総数 6 名）、監事 2 名（総数 2 名）、理事長 他

#### ・平成 26 年度第 2 回理事会

開催日：平成 26 年 11 月 29 日（土）

開催場所：サンスター本社

決議事項：金田博夫研究助成基金「平成 26 年度海外留学交付対象者」の承認、

報告事項：①金田博夫研究助成基金 平成 23 年度海外留学の報告

②附属千里歯科診療所移転計画の進捗状況

③消費者への教育啓発活動としてのラジオ媒体の活用

出席：理事 10 名（総数 14 名）、監事 2 名（総数 2 名）、顧問 3 名（総数 3 名）他

#### ・平成 26 年度第 3 回理事会（書面理事会）

開催日：平成 26 年 3 月 31 日（火）決議の省略による開催

決議事項：平成 27 年度事業計画の承認

### (2)財団全国会議の開催

開催日：平成 26 年 12 月 18 日（木）

開催場所：サンスター研修所

会議内容：2015 年度財団事業活動の検討

法人会計収支は、前年比 8.8 百万円増の 19.5 百万円の寄付金収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等 55.1 百万円の管理費を計上。当期経常増減額（税引前営業利益）は前年比 2.4 百万円増の▲35.7 百万円となりました。

### Ⅲ 補助金・寄付金収入

#### 1. 補助金

大阪府より障がい者歯科診療補助金 **795,600 円** を交付されました。

#### 2. 寄付金

下記団体より**合計58,652,500 円** の寄付金を受け取りました。

・サンスター株式会社	28,600,000 円
・STARLECS 株式会社	15,000,000 円
・Sunstar Singapore Pte.Ltd.	11,350,000 円
・サンスター技研株式会社	3,000,000 円
・サンスターマーケティング株式会社	700,000 円
・個人その他	2,500 円

#### ■当財団人員数(平成 27 年 3 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防 事業部	健康 推進室	事務局	合計
歯科医師	4 人				4 人
歯科衛生士	8 人	14 人	1 人		23 人
産業医			1 人		1 人
保健師			2 人		2 人
事務職他	3 人	1 人	1 人	2 人	7 人
合計	15 人	15 人	5 人	2 人	37 人

以上



## IV 事業活動詳細報告

### (1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	253 事業所	36,702 人
②企業・団体の事業所イベント・個別歯科保健指導・歯科保健セミナー	7 件	220 人
③団体へ通信講座による歯科健診・保健指導	1 件	10,095 人

### (2) 8020運動啓発等の歯科保健活動

①地域・保健所・歯科医師会等での行事・量販店顧客への指導	95 件	7,970 人
②キャンペーン等イベントでの歯科保健指導	20 件	10,172 人
③得意先に対する・歯科保健セミナー・指導	15 件	633 人
④コープ組合員様向け・社内行事等における歯科保健指導	12 件	451 人
⑤病院職員・患者様向け歯科保健セミナー・指導	3 件	98 人

### (3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯磨き指導・歯科健診	30 園	5,534 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	139 校	12,798 人
③心身障がい児(者)施設の訪問歯科健診・保健指導	1 件	21 人

### (4) 主な研究発表・講演

4 月	日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会	宮辻
9 月	日本口腔インプラント学会（東京）	鈴木、吉村、岡田
10 月	日本国際歯科大会ワールドデンタルショー（横浜）	鈴木、吉村
11 月	ClubGP Advanced Meeting（東京）	鈴木
12 月	日本補綴歯科学会プロソ'14 臨床研鑽会（東京）	鈴木
2 月	ClubGP Advanced Meeting（東京）	鈴木

### (5) 主な学会・講演会参加

4 月	日本臨床歯周病学会関西支部	福池、野田、吉村、宮辻、志賀、難波、広田
5 月	日本補綴歯科学会（仙台）	鈴木
	日本小児歯科学会（東京）	宮本
	日本歯周病学会（岐阜）	横小路
6 月	日本臨床歯周病学会（名古屋）	鈴木、福池、宮辻
	第二種歯科感染管理者検定講習会（大阪）	野田
	大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）	福池、難波
7 月	BioHorizons implant 第4回特別講演会（大阪）	鈴木
	大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）	福池、難波、志賀
8 月	G C 友の会学術講演会	吉村、志賀、難波、広田
9 月	日本口腔インプラント学会（東京）	鈴木、岡田、吉村
	日本歯科衛生学会（大宮）	福池、野田
	大阪大学歯学部臨床談話会	加藤
	糖尿病療養指導士認定基礎講習会	福池、宮辻、吉村、岡田、宮辻

10月	日本国際歯科大会ワールドデンタルショー（横浜） モリタ感染管理セミナー（大阪）	鈴木、吉村、岡田、宮辻 難波
11月	日本歯科審美学会（香川） 日本歯周病学会秋季大会（神戸） 日本臨床歯周病学会関西支部 ClubGP Advanced Meeting（東京）	鈴木 横小路、福池、志賀、難波、広田 福池、宮辻 鈴木
12月	日本国際歯科研究学会日本部会 日本補綴歯科学会プロソ'14臨床研鑽会（東京）	鈴木 鈴木
1月	大阪府歯科衛生士会学術集会（大阪） 日本補綴歯科学会シンポジウム（鶴見） 上級救命講習（大阪）	野田、志賀 鈴木 野田
2月	日本小児歯科学会専門医セミナー（福岡） 日本口腔インプラント学会近畿北陸支部学術集会 ClubGP Advanced Meeting（大阪）	宮本 吉村、岡田 鈴木

以上